

マツダ財団 2025 年度の研究助成を決定

一人ひとりが共に繁栄を分かち合い、心豊かに生きることのできる社会の実現を願って

公益財団法人マツダ財団(理事長 菖蒲田 清孝 以下、マツダ財団)は、2025 年度の研究助成を決定しました。

今年度は、全国の大学・研究機関などからの応募総数が 283 件となり、その中から「科学技術の振興」関係として 30 件に助成金総額 3,200 万円を、また「青少年の健全育成」関係として 5 件に助成金総額 400 万円の研究助成を決定しました。合計では、35 件、総額 3,600 万円となります。

なお、科学技術振興関係の助成対象の中から、選考委員会が特に優れた研究であるとみなした各分野1件、合計 4 件の研究に対し、「マツダ研究助成奨励賞」を贈呈し、副賞として 50 万円を各々追加助成します(総額 3,200 万円の内数)。

今年度の研究助成は次の通りです。

1. **科学技術の振興関係**は、応募 247 件に対し、助成 30 件、助成金総額は 3,200 万円(100 万円/件、+奨励賞 50 万円/件)です。現在ならびに将来にわたって解決が求められている科学技術に関する基礎研究および応用研究を助成対象としています。その中でも、先進的・独創的な研究や未来をひらく萌芽的研究を期待しています。また次世代を担う若手研究者および循環・省資源に貢献する研究を優先して助成しています。

中国地方では、「分子ふるい能を有するナノリアクターの開発」(広島大学)等の 3 件が選ばれました。「マツダ研究助成奨励賞」では、社会的意義や応用展開の可能性のある革新的研究として、「希薄溶液に特化したモデルフリー細管式粘度計の開発」(名古屋大学)、「部分観測条件下における Physics Informed Machine Learning の改良」(神戸大学)など 4 件が選ばれています。

2. **青少年の健全育成関係**は、応募 36 件に対し、助成 5 件、助成金総額は 400 万円です。青少年の健全育成に係る教育現場および市民活動の活性化に役立つ汎用性の高い研究(基礎的研究を含む)で、現代社会の問題・課題を掘り下げた研究を、助成対象としています。

今回は、「大学生が主体的に活躍する地域づくりのエコシステム形成に関する研究」(静岡大学)、「聴覚障害学生支援のための大学ノートテイカー学生共同養成・研修プログラム作成と研修実践による効果検証」(岡山大学)などが選ばれています。

なお、2026 年度青少年健全育成のための市民活動支援につきましては、10 月中旬に、広島・山口両県で募集を開始します。

1984 年に設立されたマツダ財団は、人々が共に繁栄を分かち合い、心豊かに生きることのできる社会づくりに寄与するために、「科学技術の振興」と「青少年の健全育成」を 2 本柱として事業を展開しています。これまでの助成実績は今回を含め合計 2,796 件、20 億 7,068 万円となりました。

マツダ財団は、「つなぐ」をテーマに、更なる社会貢献に取り組んでまいります。

以上

第 41 回(2025 年度)マツダ研究助成一覧

マツダ財団ホームページ : <https://mzaidan.mazda.co.jp/>

【科学技術振興関係】

助成金額は一律 100 万円。但し、「マツダ研究助成奨励賞」に選出されたものは、50 万円の追加助成。

◇印は循環・省資源に係わる研究

◆印は「マツダ研究助成奨励賞」対象者

地域	研 究 題 目	循環/省 資源:◇	研 究 代 表 者	助成金額 (万円)
宮城県	分子光アンテナを用いた分子マシンの高効率駆動	◇	東北大学 豊田 良順 助教	100
宮城県	超高品質なジョセフソン接合の実現に資する超伝導電極間へのグラフェンのボトムアップ合成手法開発		東北大学 小倉 宏斗 助教	100
栃木県	高密度・高感度化に向けた有機半導体放射線センサの開発	◇	足利大学 宮田 恵理 講師	100
栃木県	微粒化と反応領域を融合した濡れ性制御型宇宙推進機用触媒		小山工業高等専門学校 飯塚 俊明 准教授	100
千葉県	高速移動体通信の高度化に向けた OTFS 伝送のための高効率スパース信号処理設計		東京理科大学 原 郁紀 嘱託助教	100
東京都	触媒反応原子シミュレーションを活用した活性金属担持固体触媒の計算先導開発	◇	東京大学 安村 駿作 助教	100
東京都	発光性有機 π ラジカルの新規分子設計指針の確立と平面構造を活かした機能開拓		東京都立大学 伊藤 正人 助教	100
東京都	縮環トリエミダゾール型二次元高分子の合成と有機電池への応用	◇	東京科学大学 佐藤 宏亮 助教	100
神奈川県	水素置換型鉄系超伝導体における自然/人工ナノ構造の解明		東京科学大学 半沢 幸太 助教	100
神奈川県	天然素材由来高性能炭素量子ドットの作製方法の確立	◇	横浜市立大学 鈴木 凌 助教	100

地域	研究題目	循環/省資源:◇	研究代表者	助成金額(万円)
愛知県	メカノケミカル反応による多環芳香族化合物の官能基化と π 拡張	◇	名古屋大学 伊藤 英人 准教授	100
愛知県	希薄溶液に特化したモデルフリー細管式粘度計の開発	◇	名古屋大学 大家 広平 助教	150 ◆
石川県	液液相分離ナノ液滴の蒸発ダイナミクスに関する分子論的解析と非接触実験評価法の検討	◇	金沢大学 玉舘 知也 助教	100
石川県	高エントロピーペロブスカイト酸窒化物ナノ粒子の化学合成と環境調和型熱電材料の創製	◇	北陸先端科学技術大学院 大学 高橋 麻里 講師	100
富山県	有機ガラス共振器を利用したランダムレーザー OLED の創出		富山大学 森本 勝大 准教授	100
富山県	屋内自律飛行ドローンに向けた高速・高精度な単眼深度推定手法の開発		富山県立大学 孔 祥博 講師	100
大阪府	光トラッピング技術による結晶サイズ・形状の自在制御		大阪大学 高橋 秀実 助教	100
大阪府	音声伝わる感情を自然言語で記述する音声感情認識の研究		立命館大学 永瀬 亮太郎 特任助教	100
兵庫県	部分観測条件下における Physics Informed Machine Learning の改良		神戸大学 小松 瑞果 助教	150 ◆
奈良県	キトサンナノファイバー複合による生分解性高分子材料の剛直性・延伸性・分解性の両立	◇	奈良先端科学技術大学院 大学 以倉 峻平 助教	100
和歌山県	構音特性のモデル化とその構音障害者コミュニケーション支援への応用		和歌山大学 陳 金輝 准教授	100

地域	研究題目	循環/省資源:◇	研究代表者	助成金額 (万円)
広島県	分子ふるい能を有するナノリアクターの開発	◇	広島大学 河崎 陸 准教授	100
広島県	産業用ロボットの準繰り返しビジュアルサーボの精密位置決め制御		広島大学 村松 久圭 准教授	100
広島県	エステル基を有するチアゾロチアゾール骨格を基盤とした簡便合成かつ高効率な有機太陽電池材料の開発	◇	広島大学 山中 滉大 特任助教	100
香川県	水と殻構造に着目したイオン性ポリシロキサン機能探索	◇	香川大学 原 光生 准教授	100
高知県	高輝度発光する有機単結晶の創出と光学素子への展開	◇	高知工科大学 松尾 匠 助教	100
福岡県	合理的配位子設計で拓く発光性 d3 遷移金属錯体の創製		九州大学 小野 利和 准教授	100
福岡県	圧縮機内部流動場の音響リモートセンシング技術の開発	◇	九州大学 草野 和也 助教	100
熊本県	光刺激により分極制御可能な電子材料創出	◇	熊本大学 関根 良博 准教授	150 ◆
熊本県	バルク光起電力効果を利用した新規光電変換材料の開発	◇	熊本大学 寺澤 有果菜 助教	150 ◆

科学技術振興関係 30 件

助成金総合計

3,200 万円

「マツダ研究助成奨励賞」(科学技術振興関係)一覧

分野	研究題目 選考理由	研究代表者
【機械】	<p>「希薄溶液に特化したモデルフリー細管式粘度計の開発」</p> <p>本研究は、時間毎の流体情報から流動物性を推定する逆解析手法を応用し、従来のレオロジー物性評価では不可能な、界面活性剤や高分子を添加した「低粘度流体」の計測を可能にするものである。これよりレオロジー物性評価の対象を大幅に拡大でき、流体機械のみならず、生体内流動、食品、化粧品、塗料など様々な分野での希薄溶液の流動現象解明とその応用による機能向上が期待できる。</p>	<p>名古屋大学 大家 広平 助教</p>
【電子・情報】	<p>「部分観測条件下における Physics Informed Machine Learning の改良」</p> <p>本研究は、Physics Informed Machine Learning の実務上の課題である部分観測下での学習不安定性に対し、支配方程式を最大限活用する新たな枠組みを提案しており、高い独創性と実用性が評価される。提案手法が確立されれば、不完全なデータ環境でも高精度なシミュレーションが可能となり、気象、構造物診断、医療など多分野への波及効果が期待される。現実的な課題に根ざした研究であり、奨励賞と評価する。</p>	<p>神戸大学 小松 瑞果 助教</p>
【化学系材料】	<p>「光刺激により分極制御可能な電子材料創出」</p> <p>分子の設計自由度と構造柔軟性を活用し、格子内の電子・スピン・プロトンの揺動による「空間的ゆらぎ」を自在に制御可能な分子材料の創出を目指している。放射光 X 線・中性子回折などの先端計測技術と計算科学を駆使し、環境低負荷な新材料の設計指針を確立する点で非常に先進的かつ独創的である。既存材料では実現困難なダイナミックな極性を示す新材料の創出は、材料科学の新たなフロンティアを切り開く可能性を秘めており、その革新性と実現可能性において高く評価される。</p>	<p>熊本大学 関根 良博 准教授</p>
【物理系材料】	<p>「バルク光起電力効果を利用した新規光電変換材料の開発」</p> <p>カーボンニュートラル時代に向けて、バルク光起電力効果による光電変換が注目されている。これまで、無機材料においてバルク光起電力効果の発現に必須な結晶構造の空間反転対称性を破ることに限界があった。本申請は、有機分子の導入により対称性を制御する独自の手法により、従来の無機材料開発の延長では実現できない新規光電変換材料の創出を目指す挑戦的な研究として評価される。</p>	<p>熊本大学 寺澤 有果菜 助教</p>

計 4 件

【青少年健全育成関係】

地域	研究 題 目	研究 代 表 者	助成金額 (万円)	
静岡県	大学生が主体的に活躍する地域づくりのエコシステム形成に関する研究	天野 浩史 静岡大学 特任准教授	65	
岡山県	聴覚障害学生支援のための大学ノートテイカー学生共同養成・研修プログラム作成と研修実践による効果検証	下中村 武 岡山大学 助教	85	
青森県	超人口減少社会における子どもの意識・行動とキャリア形成をめぐる実証研究:次世代のウェルビーイングを実現する地域教育計画に向けて	長尾 悠里 弘前大学 助教	84	
石川県	急性期医療で親を亡くした子どもへの支援モデルの構築 —地域とつながるグリーフサポートプログラムの展開—	水上 喜美子 金沢大学 附属病院 特任助教	83	
奈良県	「いわての復興教育」における地域連携をととした愛郷心の育成に関する研究	小野寺 香 奈良女子大学 准教授	83	
青少年健全育成関係		5 件	助成金総合計	400 万円